



2月 園だより

ホームページ <https://www.aen.arakawa.tokyo.jp/youchien/minamisenju2/>



協同性の育ち

園長 立石 晃子

寒さ続く中、時折雨も降るようになり、立春が近付いていることを感じます。今年の節分は2月2日だそうです。国立天文台の暦計算室が発行した暦象年表によると、2月2日になるのは124年ぶりとのこと。初めて節分という日が変わるということに驚いた次第です。

1月後半、今年、汐入・南千住地区の小学校や施設を訪ね回った年長組の子供たちは、たくさんの学びを得ました。そこで、汐入・南千住地区にある（見える？）ものを4人程度の友達と一緒に作る活動をすることにしました。「マンション！」「消防署！」「ふれあい館！」などと子供たちは愛着のある建物から、グループで何をつくるか選び、取り組みはじめました。子供たちは大型積木、段ボール、ガムテープ、画用紙、粘土、段ボールカッターなど、いろいろな素材や道具を取り入れながら友達と「協力」し合って作っていました。マンショングループは、「たまごの殻と中身をつくりたい。」「ここでパソコンが使えるといいよね。」「トイレがあるといいよね。」などと、室内にあるものをどんどん言い合っていて作っていました。消防車グループは、作ったはしごをどう付けようか、色塗りが先か、付ける方が先かと友達と相談していました。ドーナツグループは、担任の先生の用意してくれた写真を見ながら気付いたところを友達と話しながら、細部にこだわったドーナツをつくっていました。常磐線の車両グループはある子が段ボールカッターで窓を切り始めると、その姿に気付いた子がさっと段ボールを支えていました。スカイツリーグループは、「今日はここ（展望デッキ）まで、明日はここ（展望回廊）まで。」と計画を立てて毎日少しずつ進めていました。ふれあい館グループは、振り返りの中で「看板があるといい。」というアイデアを受けて、早速に取り組んでいました。友達がその場を離れると「一緒にやろうよ。」と声を掛ける姿もありました。子供たちは自分だけですめるのではなく、同じグループの友達と意見を交わしながらアイデアを実現して行っていました。

「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の「協同性」の姿に、「友達と関わる中で、互いの思いや考えなどを共有し、共通の目的の実現に向けて、考えたり、工夫したり、協力したり、充実感をもってやり遂げるようになる。」と記されています。協同性の姿が生まれるためには、まずは保育者との信頼関係を基盤とした安心感をもつこと、そして、友達と関わることの楽しさ、遊びの中で充実感ややり遂げようとする、共通の目的をもつ、対話、工夫し、協力するという経験が必要です。こうした経験をとおり、子供たちは共通の目的に向かって、見通しをもち、自分が取り組みたいこととともに友達の様子や思いも汲み取りながら、一緒に物事を進めていけるようになります。今回の汐入の街づくりでの子供の姿は、今回に至るまで子供たちがしっかりと集団生活の中で協同性につながる経験を積んできたからこそ見られた姿と考えます。これからの小学校以降の生活で必ず生きる力になる姿です。

楽しいこといっぱい！子供たちの園生活

< 3 歳もも組 >

動物に変身！！みんなで劇ごっこ楽しいな

教師や友達との久しぶりの再会を喜びながら始まった3学期。色付けしたこまを何度も回したり、友達を誘って一緒にカルタや絵合わせカードをしたり、園庭で走り回りながら自分で作った凧を揚げたり、お正月遊びをたくさん楽しんでいるもも組の子供たちです。

また、動物のお面を自分で色を塗ってハサミで切って作り、早速被って動物に変身！！「ニャーニャー。」と鳴き声を真似てみたり、「がお〜」と強そうなポーズをきめて歩いたり、「ピョンピョン。」とジャンプしたり、動物になったつもりで動いたり、踊ったり、おままごとをしたりすることを楽しんでいました。たくさん遊んでいくうちに劇遊びにつながり、動物たちの森の背景を作ったり、広い遊戯室でやってみたりしながら、当日に向けどんどん劇遊びが楽しくなってきた子供たちです。2月も、劇遊びの会の余韻を楽しんでいたり、楽器等を使った表現遊びも行ったりしていきます。

< 4 歳たんぽぽ組 >

みんなで一緒にやると楽しいね！頑張れるね！

寒い日でも元気いっぱい園庭に飛び出して行き、「おおかみと子ブタの鬼ごっこ」を楽しむたんぽぽ組の子供たち。今では、陣地を作り、鬼を決めるのも全部自分たちで遊びを進めています。先日、もも組の子供たちが興味をもち、鬼遊びに加わってきました。ルールを丁寧に説明したり、優しく手をつないでリードしたりする姿があり、成長を嬉しく思うと共に、異年齢の交流の大切さを実感しました。今後も可能な限り他学年との交流を深めていこうと考えています。

今たんぽぽ組では劇遊びを楽しんでいます。動物らしく動いてみたり、セリフや動きを友達と気持ちを合わせて言ってみたり動いたりする姿があります。一人ではドキドキしてしまう子も「友達が一緒だから」頑張れるのです。学級のみんで行う活動がとても楽しく、つながりを強く感じているようです。この経験を通してまた一つ自信につなげていきます。

< 5 歳ばら組 >

寒さを吹き飛ばして、幼稚園での思い出をたくさん作ろうね。

「汐入の街作り」の取り組みでは、グループの友達と共通の目的に向かって活動を進め、必要なことを友達と考えて、工夫したり、試したりしながら表現することの楽しさを味わうことができました。普段何気なく生活の中で目にしている汐入の街並みですが、じっくりと写真等を見ながら作り進めると、「こんなところにこんな模様がついているんだ。」「こんな仕組みになっているんだ。」と新たな発見もたくさんありました。一つのものについてじっくりと観察しながら作り進めるといことや、友達と一緒に作り上げることの喜び、年少、年中組や保護者に見てもらい充実感や達成感を味わうことができた子供たちです。

2月も、寒い中ですが、思い切り体を動かして遊ぶ楽しさを感じたり、年中児へ様々な引き継ぎを行ったりしながら、幼稚園の思い出を増やしていきます。